



生活の党
衆議院議員

玉城デニー PRESS

People's Life First (vol. 8)



◆訪米行動の成果を報告しました。

辺野古への新基地建設反対を直接訴えるため 5 月 15 日から 24 日まで訪米した稲嶺進市長と玉城デニー衆議院議員は、「普天間飛行場移設問題に係る名護市訪米行動」の報告会を 6 月 4 日名護市民会館で行いました。

今回の訪米は、仲井眞知事が、昨年 12 月に辺野古移設を容認して以降も、依然名護市民と県民の多数が辺野古移設に反対している状況を訴える事が目的で、真のメッセージを届けたいという思いで連日、面談を重ねました。

稲嶺名護市長は現地で、市民向けのトークイベント、上院・下院議員、政府機関等、シンクタンク・有識者との面談や、現地メディア取材を通し「多くの米国民に辺野古移設反対の声を広げることができたと思う。名護市は孤立していない事が確認出来た」と成果を強調しました。

玉城デニーは、シンクタンクや米政府関係者らは「辺野古移設は日米両政府での既定路線であり国家間の問題でこの話は終わっている。」との見解に終始している事に憤慨し、「名護市民が 2 度にわたって市長選で意思を示した事と、県民の現実の意思が日本政府から伝えられていない。」という正論を逐次説明する事に米側も何ら反論できない現実を報告。民主主義の根源を正々堂々訴えてきた成果は大きく一定の理解が得られたことを説明しました。

稲嶺市長は、辺野古移設阻止に向けた今後の行動については「法律や条令にのっとり、市民、県民の支援をいただきながら辺野古移設は駄目だ」という運動を展開していく必要がある。」と活動を強化していく考えを改めて示しました。

訪米の成果と課題を踏まえ、今後も沖縄の声を届け訴える行動の必要性を確認した報告会でした。



◆生活の党県連・3区総支部 定期大会開催。

5 月 30 日（金）午後 7 時から、【2014 年度生活の党沖縄県総支部連合会・第 3 区総支部定期大会】を沖縄市福祉文化プラザにて開催致しました。日頃から支えていただいております党員・サポーターやオブザーブの皆さんが参加して 2013 年度の活動報告、決算、そして今年度の活動計画、予算案、役員人事の 5 議案を審議、全会一致で了承をいただきました。党本部から出席した鈴木克昌代表代行（兼幹事長）は「政界再編も視野に入れ、党政拡大を図りながら巨大与党を止めないといけない。そのためにも玉城さんをしっかり支えて頂きたい」と訴えました。

今年度の活動目標として「全県レベルで党の認知度を上げていくこと」「9 月の統一地方選挙で各市町村の候補者及びその支援者と一体となった取り組みを行い、11 月に予定されている知事選挙は、県民との公約を遵守し民意に寄りそう知事を誕生させる取り組みを進めていく」など、各支援団体・労働組合・各企業への支援の協力呼びかけと連携を深める活動を幅広く展開していくこと等を報告しました。



★生活の党 沖縄県総支部連合会では、年間を通して党員・サポーター及びボランティアを募集しています！

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～

平成 26 年 6 月 9 日発行：衆議院議員 玉城デニー事務所（担当：玉城）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005